

# 令和3年町成人式 晴れの式典で門出を祝う

## コロナ禍での開催に静かな決意と感謝の声

新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催が懸念されましたが、状況判断と「何とか開催してやりたい」との気持ちから実現しました。新成人の思いも同様で、住民登録者数100名（令和2年12月1日現在、前年比28名減）のうち、町内外から89名もが出席しました。五味川壘斗同式典実行委員長は



「一生に一度の晴れの舞台を開催していただき、白老町をはじめ、長年支えてくれた保護者や地域住民の方に感謝します」とあいさつしました。

会場ではマスク着用、消毒、検温と感染防止策を徹底。例年、ロビーでは久々に再会する新成人らの笑顔が弾ける光景がありましたが、今年は受け付けを済ませると真っすぐ会場へ入る

という流れになりました。戸田安彦町長は「視野を広く持ち、自らの責任において行動し、積極的に社会に参加することを期待しています」と式辞を述べました。

渡祐太さん（会社員）と山田亜弥音さん（看護学生）が二十歳の誓いを堂々と述べました。アトラクションで中学時代の恩師からのビデオレターが流れ、出席者らはうれしさと懐かしさに包まれていました。会場の出入りにも制限を設け、親たちは2階の別室でモニターでの見学となりましたが、子どもたちの晴れの姿を感慨深げに目に焼き付けていました。

式典終了後は会場を出た艶やかな着物姿や凛々しいスーツ姿の新成人たちが、好天の下、友達と楽しそうに写真を撮ったり、おしゃべりしたりと目を輝かせていました。（1月10日、白老コミセン）



表紙写真：「カメラ・撮影のむらかみ」（東町）提供



## 地元選手の地元球団入りに湧く

### 根本悠楓選手が町長を表敬訪問



「どう成長するか楽しみでした。白老からのプロ選手誕生はうれしい。ここからが大変でしょうが、（白老に）ファンがいることを忘れず頑張ってください」と激励した。地元出身選手の地元球団入りとあって、同球団白老後援会からも応援の意味を込め、クリスマスプレゼント（白老牛など「白老の食」の詰め合わせ）が贈られました。（12月17日）

根本選手（投手）は、虎杖小（虎杖浜タイガース）—白翔中—苫小牧中央高校と進学。卒業後、ドラフト5位で北海道日本ハムファイターズに入団。昨年12月17日に戸田安彦町長を表敬訪問しました。役場庁舎玄関で職員の拍手と花束贈呈で迎えられた根本選手は「ここからが勝負と思っています。積み重ねを大切に走攻守そろった選手を目指し頑張りたい」と力強く抱負を語りました。戸田町長は全国大会で優勝した中学時代を振り返り

